

大学のICTセキュリティ教育の 現状と課題

平成28年 7月 14日

室蘭工業大学 東京事務所
刀川 眞

パネリスト略歴

- 昭和49年：日本電信電話公社 横須賀電気通信研究所
- 平成元年：NTTデータ システム科学研究所
- 平成18年：室蘭工業大学 情報メディア教育センター
- 平成28年： // 東京事務所

<所属学会>

- 情報処理学会
(情報システムと社会環境研究会)
- 情報システム学会
- 日本社会情報学会 など



大学ICTセキュリティ教育の現状

教育の目的・位置づけ

大学教育を受けるための基本的素養の獲得

→ ICTリテラシー

その一環として、安全・安心な学生生活を送るための素養 → ICTセキュリティ

ICTセキュリティ教育の内容・・・狭義

- コンピュータウィルス
- パスワード
- 通信、ファイルの暗号化
- 認証機関
- WiFi(接続、ただ乗り～)
- ネット詐欺
- ソーシャルエンジニアリング
(なりすまし、のぞき見～)
-

ICTセキュリティ教育の内容・広義

- メールマナー
- 著作権、肖像権～
- SNS利用の注意
- ファイル共有サービス利用の注意
- :

マナー違反のメール

- ・タイトル、宛名、差出人の無いメール
- ・超節約メール(挨拶、改行などの省略)
極端な節約は「読み手のことを考えない無礼なヤツ」と判断される
- ・不適切な応答(内容の極端な省略、無応答・・・)
- ・敬語の誤り

著作権とは

知的財産権

工業所有権 → 産業経済の発展を促進

著作権 → 文化の発展を促進

・著作人格権

・著作財産権

その他

肖像権とは

- 自分の写真や映像を無断で撮影され、公表されない権利(プライバシー権)
- タレント、スポーツ選手、俳優などの有名人は肖像自体に経済的な価値がある。
勝手に公表するとパブリシティ権の侵害

SNS利用の注意

- ・SNSも公共の場所

現実世界でも同じことを発言・表示できるか？

一内輪で話していると錯覚しがちだが、世界中に発信

- ・情報の発信先を限定する

自分だけでなく**他人の情報**も開示してしまう危険性

- ・情報の広がるスピードが速く、削除してもどこかに保存、コピーの可能性

今後の課題

ICTセキュリティ教育の課題

- ◆次々に現れる新サービスをフォローし切れない
→ 事前にすべてを教えることは不可能
- ◆(スマホの普及により)キーボードが打てない、電話が使えない
→ 表面的にはリテラシーの問題だが、前提となる
“常識”が危うい？

ICTセキュリティ教育の課題

◆社会人としての視点の欠如



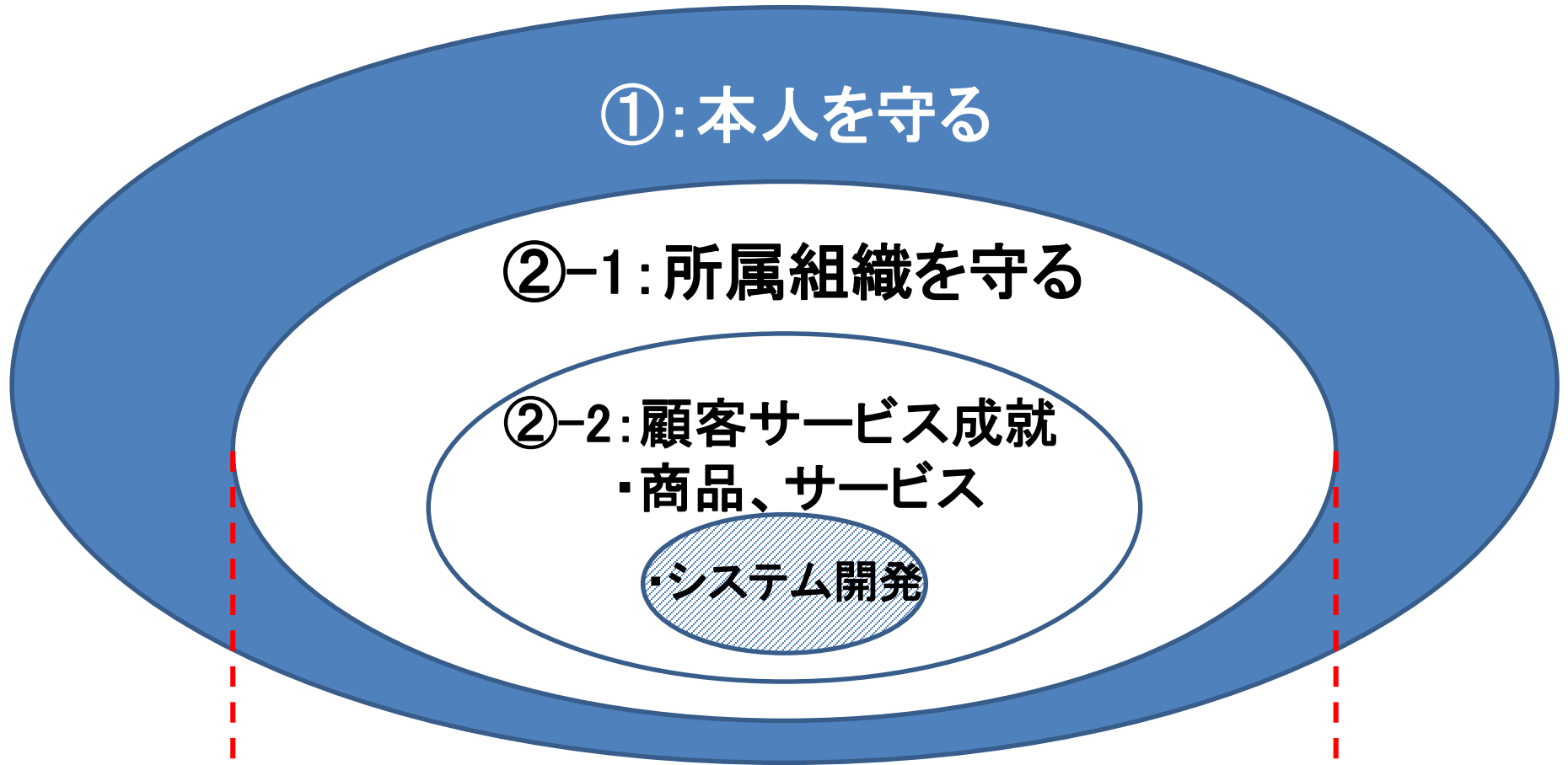
①: 安全・安心な学生生活 ⇒ 本人を守る

②-1: 所属組織を守る

②-2: 顧客サービスの成就

- ・商品、サービス(顧客情報流出～)
- ・システム開発者(SE、プログラマー)

社会人としての視点



現在、大学ではやってない

課題の本質

常識・人間力・メタ知識獲得能力をいかに養成
するか（ICT教育に限ったことではないが・・・）